

1994 年 春 季 年 会

講 演 予 稿 集

於 吹田市文化会館メイシアター

1994 年 5 月 17 日 (火) ~19 日 (木)

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 1994年度春季年会 プログラム

場所 吹田市文化会館 メイシアター

〒564 大阪府吹田市泉町2-29-1 (次ページ案内図参照) 電話06-380-2221(呼)

日程

	時刻	9:15	10	11	12	13	14	15	16	17	18	18:30	20:30
5月17日(火)	A	ASCA	ショート発表	ASCA	ASCA		ASCA		ASCA	ショート発表	ASCA		
	B	恒星	ショート発表	恒星	恒星		恒星		恒星	ショート発表	宇宙論		
	C	太陽	ショート発表	太陽	太陽		太陽		太陽	ショート発表	太陽	太陽系	
5月18日(水)	A	星間現象	ショート発表	星間現象	星間現象	評議員会	星間現象	星間現象	星間現象	奨励賞記念講演	総会		懇親会
	B	恒星	ショート発表	恒星	銀河団		銀河団	銀河団	銀河団	奨励賞記念講演			
	C	位置力学	ショート発表	観測機器情報処理	観測機器情報処理		観測機器情報処理	観測機器情報処理	観測機器情報処理	観測機器情報処理			
5月19日(木)	A	星間現象	ショート発表	星間現象	星間現象	理事会	星間現象	星間現象	星間現象				
	B	銀河団	ショート発表	銀河団	銀河団		銀河団	銀河団	銀河団				
	C	機器	ショート発表	観測機器情報処理	観測機器情報処理		観測機器情報処理	観測機器情報処理	観測機器情報処理	観測機器情報処理			

会場A：中ホール、会場B：小ホール、会場C：集会室、会場D：展示室+展示ホール、(次ページ参照)

※今回は、ポスター発表の方には、1分間の口頭発表(ショートプレゼンテーション)もお願いします。講演に関する注意をご覧ください。

講演数 合計404 うち、口頭(1分)+ポスター：272、口頭(15分)：132

参加費：会員3500円(特別会員学生1800円)、会員外4000円

講演登録料：特別会員無料、通常会員3000円、会員外5000円

予稿集頒布価格：2000円

※参加費・講演登録料納付：納付が事前にお済みでない方は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。納付されない場合は、督促手数料割増など不利益を被る場合がございますので、ご注意ください。

◎講演に関する注意

- ご自身の講演がどの形態となっているかをプログラム本文でご確認下さい。講演番号の最後にPがついているものはショートプレゼンテーション+ポスターです。
- 口頭発表(15分、ショートプレゼンテーションとも)は、3会場並行して行います。
- ショートプレゼンテーションでは、1分間でご自身のポスター発表の内容をご紹介下さい。
- ポスターは縦180cm×横90cmまで掲示できます。会場Dの指定された位置に、指定された日の午前10時までに掲出し、同日の全講演終了までに撤去して下さい。掲出にはピンをご利用下さい。
- 15分口頭発表は15分(講演12分+質疑応答3分)、ショートプレゼンテーションは1分(講演のみ、OHPシート1枚のみ)です。

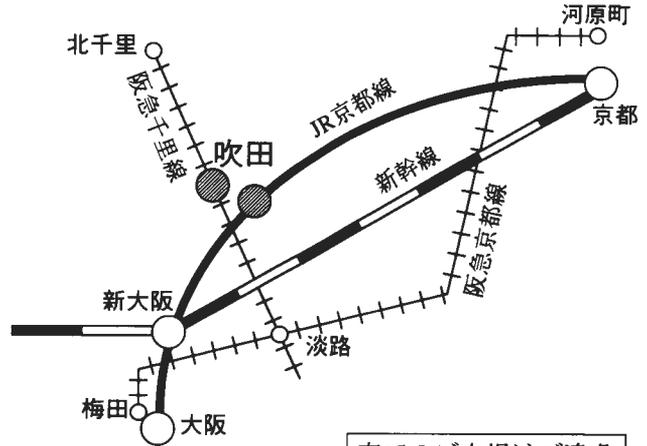
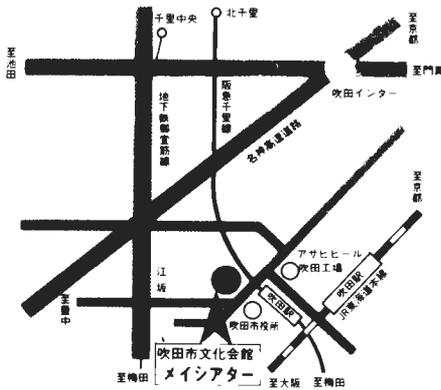
※時間厳守：上記制限を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるように特に万全の準備をお願いします。

- 講演にはスライドまたはOHPをご使用下さい。スライドは、透視した時に正しい上下に見えるようにした向きで、手前側上方に講演番号、氏名、映写順番号を書き、下縁に幅5mm程度の赤線をつけて下さい。
- 用意しますビデオはVHS方式です。詳しくは、当日会場にてご案内いたします。

◎会期中の行事

- 総会：18日16:30~18:30 会場A 主な内容・議題=天体発見賞、研究奨励賞の贈呈、平成5年度会務・会計報告、会計監査報告、平成6年度予算案、年会の講演方法について
- 懇親会：18日18:30~20:30 屋上庭園(雨天時は3階レセプションホール)
- 評議員会：18日12:30~13:30 第1会議室
- 理事会：19日12:30~13:30 第1会議室
- 天文教育フォーラム「今、天文学で何が教えられているか？」
教科書展示会：17日9:15~19日16:30 会場D、フォーラム：19日12:30~13:30 会場B
- 天文天体物理若手の会総会：17日12:30~13:30 会場B
- 光学天文連絡会委員会：17日12:30~13:30 会場C
- 理論天文学懇談会総会：19日12:30~13:30 会場C

会場案内

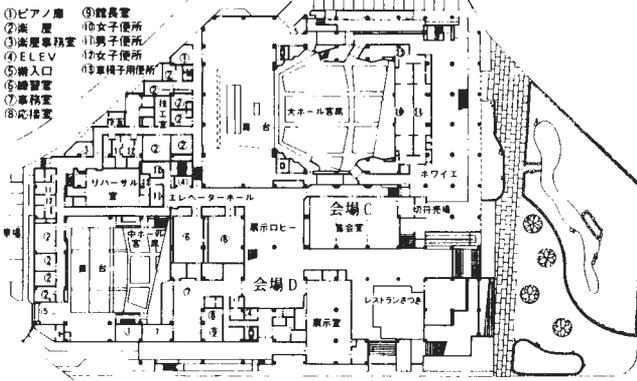


阪急千里線吹田駅下車すぐ、JR京都線（東海道線）吹田駅から徒歩10分

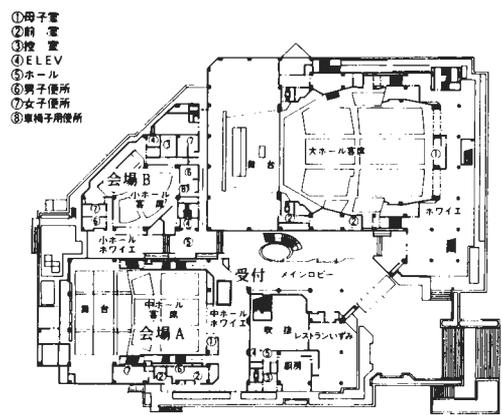
車でのご来場はご遠慮下さい

メイシアター内部

1F 平面図



2F 平面図



会場A：中ホール、会場B：小ホール、会場C：集会室、会場D：展示室+展示ホール
 本部：第2会議室、懇親会場：4階屋上庭園（雨天時は3階レセプションホール）

◎公開講演会（大阪市立科学館と共催）

日時：5月20日（金） 午後6時30分～8時30分（開場は6時）
 場所：大阪市立科学館 サイエンスシアター 〒530 大阪市北区中之島4-2-1
 「宇宙の大規模構造」 池内 了（大阪大学）
 「X線天文衛星あすか」 常深 博（大阪大学）

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございます。

◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

「今、天文学で何が教えられているか？」
 わが国の天文教育の普及と発展のため、天文学会の会期中に天文の研究教育に携わる者の情報交換の場として、日本天文学会・天文教育普及研究会の共催によるフォーラムが開催されてまいりました。本年の春季年会では、次のような催しを開催します。多数の皆様の参加をお待ちしております。
 日時：1994年5月17日～19日（春季年会会期中）
 場所：吹田市民会館 メイシアター（春季年会会場）
 内容：1. 教科書展示会の開催（会期中展示）
 小学校・中学校の理科教科書、高等学校の地学教科書、大学向けの天文学の教科書
 海外の教科書（未定）
 2. フォーラム（5月19日昼休）
 「今、天文学で何が教えられているか？」

春季年会講演方法の変更について

今年会では、「口頭発表希望者一律短時間講演」という旧来の発表形式を改め、新しい試みを行うことになりました。実行委員会は、これに至った経緯につきご説明することとし、今後の年会におけるより充実した発表形式を模索する議論への端緒となることを希望しています。

一般会費の改訂・年会参加費等の改訂に伴い、今期理事会は年会の充実を公約致しました。年会の活性化をはかるため年会実行委員会を新設して、研究奨励賞の授賞講演、招待講演、企画セッションなどを設けることをお約束致しております。

年々の講演数の増加に伴い、また会場・日数の制限により、1登壇あたりの口頭発表時間は減少を続けてきております。ポスト講演も導入されましたが、その数はおよそ口頭発表の10分の1程度でしかなく、低迷を続けているといってもよいでしょう。講演予稿集の執筆量の低下と講演時間の減少と相まって年会場での安易な講演の取消・講演内容の変更や、準備不足の講演もあるように見受けられるようになり、「完成度の高い」という年会発表講演が実際に論文として出版される数の比率も伸び悩んでいるようです。

このような情勢判断から今会費改訂を機会として、「如何に講演自体の充実をはかるか」という検討を実務理事並びに担当支部理事を中心に始めました。昨年8月の理事会や10月の臨時総会では会費の改訂に関する件と表裏一体のものとして年会の充実を議論戴くようお願い致してきたものと考えておりますし、年会実行委員会制度やポストセッションの拡充といった具体的な提案も致してきました。会費の改訂に関しては既に天文月報1月号に詳細が述べられておりますが、その中でも年会実行委員会やポスターセッションの充実について記し、年会の活性化をお願いしています。この理事会提案は1月の評議員会でご承認をうけることができました。これらの議論を基に、今春季年会から実際に年会実行委員会を発足させ、充実した年会作りを目指すこととなりました。今まで年会のプログラム編成が機械的な作業が中心であったせいもあり、便宜的に任意の理事の慣習として行われて来たわけですが、理事以外にも年会に関心を寄せている方々の意見を取り込んで年会

運営ができるようになったわけです。また、ポスト講演の充実のための具体策としては、ポスト講演の数を増やし、ポストディスカッションの時間を充実させると同時に口頭講演時間を1登壇15分は確保するという方向を考えました。

年会実行委員会では多くの観点から、また色々な視野からの議論がなされました。今後の年会の充実の方向として多くの可能性が示唆されました。年会期間の延長、パラレルセッション数の増加、口頭vsポストの選別制度などについての議論がなされましたし、講演以外の年会の催しについても意見が交わされました。現制度が満足すべきものでないことは、委員の意見の一致したところでしたが、その改良への意見集約が必要であることも認識されました。詳しくは総会や天文月報記事として別途ご報告したいと存じますし、また皆様のご意見を伺う機会を設けたいと存じます。

今年会に関する実行委員会としての結論は、実務理事・実行委員会の準備不足の点を承知し、また今回の試みが唯一ではないことを認識しながらも、現在の年会開催会場・期間の制限の中で口頭講演とポスト講演の充実を試行しようとするものです。このため、口頭講演は1登壇15分とし、ポスト講演は日替りで、毎日3時間のポストディスカッションの時間を設けることにしました。ポスト講演には1講演につき1分/1ビューグラフのショートプレゼンテーションをお願い致します。更に口頭発表希望の方をポスト発表に変更して戴くために、抽選による選別をおこないました。これは選別方法としては、現在の準備状況では思惟的に委員会なり座長なりが選別するよりもより良い方法と考えての結論です。また、委員の中にはこれらの試行に関して反対する意見をもつ方々がおられたこともつけ加えておきます。

以上が経緯ですが、客観的にいって準備不足は否めません。また年会講演希望の方々への広報活動も十分でなかったことは事実ですので、ご批判は甘受致します。しかし、年会場は1年以上前から準備しなくてはならない事実や、長期的な議論・展望を過度に重視するあまり行動をとらずに時間をつぶす事態を鑑めば、可能なことを試行してみることも重要だと考えた次第です。実行委員会は年会充実への強い意志をもっておりますので、

今回の試行が今後の年会改善への礎となることを希望し、また会員・年会参加の皆様のご議論の刺激となることを期待しております。

平成6年 春季年会実行委員会 渡邊鉄哉
唐牛 宏、戎崎俊一、常深 博、渡部潤一
福島登志夫、蜂巢 泉、半田利弘、大橋隆哉
谷口義明、須藤 靖、中野武宣
(平成6年春季年会実行委員会)

年会改革の可能性を探る

さる3月19日に戎崎、大橋、須藤、常深、中野、蜂巢、半田、福島、渡邊(50音順)の9名の委員が出席して年会実行委員会が開かれ午前10時30分から午後6時30分までほとんど休みもとらず、年会の実行方針について広く熱心な議論が行なわれた。さらに、その議論を受けて、3月26日の理事会(参加者:内田、中野、渡邊、唐牛、戎崎、井上、谷川、半田、有本、常深、大橋、太田、福島、亀谷、石附、沢)でも議論がなされた。その中で行なわれた、1994年秋の以降の年会実施方針についての議論をここに紹介する。この議論をもとに春の年会会場で会員に対してアンケート調査を実施し、今後の方針を決める予定である。以下に、「委員」とあるのは、年会実行委員のことである。1994年春の年会についての議論は委員長の渡邊が別に紹介する予定である。

1 実行委員会の運営

委員の選出方法については理事会が選出し、総会の承認をえるという手続きが今後は必要であるという意見が委員から出た。これに対し、理事会では通常は総会が年1回しか開かれないので、運営上問題があり年3回開かれる評議員会承認事項としてはどうかとの意見が出た。また、広く会員の意見を取り込む必要があるため、再選の禁止などの処置が必要ではないかとの意見が委員からあった。これに対し、理事会で年会毎に実行委員が入れ替わり実行方針が猫の目のように変わるのとは問題があるという意見が出た。

2 講演形式

まず、現状では発表時間が短すぎるので、何らかの改革が必要であるという点で全委員の意見が

一致した。講演の形式については、現在可能な形態としては次の3つの方針が考えられる。それぞれ一長一短があるので、その中の中でどれが最も望ましいのか会全体で議論してもらう必要があるとの点で全委員の意見が一致した。

(1) パラレルセッション数の増加

従来の年会の基本的な考え方と同じなので大部分の会員に受け入れやすい選択であろう。ただし、発表申込数(今回の春の年会では約400)の大部分を15分の口頭発表とし、しかも3日で終了させるためには5から6セッションを並行して行なう必要がある。これに対し、たくさんのセッションを並行に行なうと講演の大部分を聞けなくなるなどの苦情が従来からあった。また、現在の分野では1つであるもののうちいくつか(銀河・銀河団、星間現象、観測機器・情報処理など)を細分化し、それを並行に進める必要も出てくる。さらに、会場は大学構内で行なうことが必須となる。もし、春の年会を従来通り5月中旬に行ない、6セッションを並行に行なうと、会場は大ホテルに限られるので年会参加費を少なくとも倍増する必要があるかも知れない。では、春の年会を大学が春休みに入っている3月下旬~4月上旬に行なうのはどうかという学会の決算期とぶつかること、総会による決算の承認(定款によって定められている)を得ることが困難であることの2点で、現時点ではほとんど不可能である。したがって、現在以上のパラレルセッション数の増加を実現するには、定款を改定し、決算期を12月末にずらす必要があるとの説明があった。

(2) ポスター発表の増加

現在ほとんどの会員が口頭発表を望むことが問題である。どうやって、限られた数の口頭発表者を選ぶかが最も大きな問題となる。選択方針には次の三つが考えられる。

(あ) 分野ごとに交代

年会毎に口頭発表ができる分野を決め、回り持ちとする。この案では口頭発表分野へ発表申込と参加者が集中する可能性が高いとの指摘があった。参加者が口頭発表分野に偏ると他分野との交流といった年会の重要な機能が損なわれることになる。

(い) ランダム選抜

抽選または先着順で口頭発表者を選ぶ。アメリカ

カ天文学会は先着順で決めていることが紹介された。先着順の場合は学会事務室に地理的に近くにいる人が有利にならないように配慮する必要があるとの意見があった。

(う) ランダムでない選抜

何らかの基準で口頭発表者を選ぶ。具体的な方法については次のようなものが提案された。

- a) 分野毎に選抜責任者を決める。選抜の基準はその責任者が決める。この案に対し、選抜責任者の人選に多少問題が起こるかも知れないとの指摘がされた。
- b) 若手を優遇するために修士・博士論文には希望する形態で発表してもらう。年齢・学年を基準として優遇策をとってはどうかとの意見もあった。ただし、大学・研究所に属さないアマチュア研究者からは、所属を基準として選抜しないでほしいという要望が来ていることが紹介された。
- c) 実行委員会で企画した招待講演のみを口頭発表とし他はすべてポスター発表とする。

学振の報告書などでは口頭発表がポスター発表に比べて重くとり扱われているとの指摘があった。これに対し今度の年会で採用するショートトーク（一分口頭＋ポスター）ならば、口頭発表のカテゴリーに属するという意見があった。また、ショートトークがどれくらい会員の支持を受けられるのか見極める必要があることで委員の意見が一致した。

(3) 口頭発表のみ

この場合は一つの口頭発表に対する割り当て時間を3分以下に縮めるか、学会会期を現在の3日から5～6日に伸ばす必要がある。前者は、講演内容がますます分からなくなるという問題がある。後者は年会開催にかかる経費と参加者の旅費が増加する問題がある。

3 複数講演

口頭発表はひとり年会あたり1件以下という制限つきで複数講演を認めてはどうかという意見がでた。2件目からは特別会員からも通常会員なみの講演登録料を徴収すべきだという点で委員の意見が一致した。また、天文学の教育・普及に関

する発表には特別な配慮をすべきであるとの意見が出された。

4 ビデオの使用

ビデオを用いた発表は今回17件に達した。ビデオのレンタル料が無視できないのでビデオ使用希望者にはビデオのレンタル料を講演登録料に上乗せすべきだとの意見があった。また、ビデオ使用者だけのセッションを設けるかどうか、口頭発表に選ばれなかったビデオ希望発表の取り扱い、時間制限などについて検討する必要がある点で委員の意見が一致した。

5 予稿集

タイトルと著者名の英語表記を付記するのはどうかという提案があり、Astronomy Astrophysics Abstractなどに登録され、英語論文内でも引用できるようになる利点もあるとの意見があった。予稿集には単なるアブストラクトではなく本論文(4～10ページ)を要求してはどうかという提案があった。工学系の学会ではよく行なわれている。また、予稿集代金は年会参加費に含めるべきだとの意見があった。さらに、それぞれの年会で最優秀論文を選んだらどうかという意見がでた。最後に、今回既に試行を始めたが、予稿集のスタイルについてもさらに工夫の余地があるという指摘があった。

6 懇親会

料理の量と質を下げてもいいから（極端にはビールとピーナッツのみ）、懇親会費を思いきって下げるべきだという意見がでた。また、会員の懇親をはかるという点では毎日の日程の終了後にショットバー形式の形態（海外の研究会でよく行なわれている）も考えられるのではないかという提案があった。

戎崎俊一（年会実行委員）

5月 17日(火)	会場A (中ホール)	会場B (小ホール)	会場C (集会室)
9:15	<p>【ASCA】</p> <p>Y01 「あすか」によるケプラー超新星残骸の観測 衣笠健三, 常深 博(阪大理), 他「あすか」チーム</p> <p>Y02 「あすか」によるカシオペアAの観測 常深 博, 根来 均(阪大理), S.Holt, E.Gotthelf, 他「あすか」チーム</p> <p>Y03 Thermal and non-thermal emission from SN1006 K.Koyama, M.Ozaki(京大理), M.Matsuura(京 産大), I.Hatsukade(宮崎大), T.Kii(ISAS), E. Gottthelf, S.Holt(GSFC) and Asca Team</p>	<p>【恒星】</p> <p>T01 Magnetic Viscosity by the Shearing Instability in Accretion Disks R.Matsumoto(Chiba Univ.), T.Tajima(UT Austin)</p> <p>T02 降着円盤中の Eccentric Modes の3次元構造 岡崎敦男(北海学園大教養)</p> <p>T03 特異な挙動を示すSU UMa型矮新星PG 0943+ 521の発見 加藤太一¹, Chatief Kunjaya^{1,2}(¹京大・理, ²Dept. of Astronomy, ITB)</p>	<p>【太陽】</p> <p>S01 フレア活動の高い活動領域の電波バーストの特性に ついて 池田秀昭(信州大学), 西尾正則(国立天文台野辺 山), 中島 弘(国立天文台野辺山)</p> <p>S02 太陽フレアに伴う高エネルギー中性子の長時間にわ たる放出 松岡 勝, A.Struminsky(理研)</p> <p>S03 γ線スペクトルから見た粒子加速 吉森正人, 須賀一治, 森本幸司, 平岡卓也, 佐藤 淳(立大理), 河鱈公昭(名大理), 大木健一郎(国 立天文台)</p>
10:00	<p>【ASCA】</p> <p>Y22 P 「あすか」衛星によるOrion Nebulaの観測 山内茂雄(岩手大人社), S.Skinner(ISAS), D.J. Helfand(Columbia Univ), 岡田京子(東大理), 他「あすか」チーム</p> <p>Y23 P ティコの超新星残骸のX線スペクトル 廿日出勇(宮崎大工), 常深 博(阪大理), あす かチーム</p> <p>Y24 P 超新星残骸Puppis-Aの高温プラズマとその構造 田村啓輔, 常深 博(阪大理)他「あすか」チ ーム</p> <p>Y25 P 「あすか」によるE0102-72の観測II 林 一蔵, 小山勝二, 尾崎正伸(京大理), 宮田恵 美, 常深 博(阪大理), J.Hughes(CfA), R.Petre (NASA/GSFC), 「あすか」チーム</p> <p>Y26 P 「あすか」による白鳥座ループの観測(II) 宮田恵美, 常深 博(阪大理)他「あすか」チ ーム</p> <p>Y27 P SS 433の二つのジェットからのX線輝線 河合誠之, 袁 為民(理研), 小谷太郎(宇宙研), 【あすか】チーム</p> <p>Y28 P 白鳥座X-3のX線, 電波, 赤外線での活動性 北本俊二, 宮本重徳(阪大理), E.B.Waltman, R. L.Fiedler, K.J.Johnston(NRL) and F.D.Ghigo (NRAO)</p> <p>Y29 P 「あすか」によるCyg X-3の観測 川嶋健治, 北本俊二, 根来 均, 宮本重徳(阪大 理), N.E.White(GSFC), 長瀬文昭(宇宙研)他 「あすか」チーム</p>	<p>【恒星】</p> <p>T20 P 堂平における炭素星の光電測光観測(II) 佐藤英男, 西城恵一¹, 吉岡一男², 辻 隆(東大 理, ¹国立科学博物館, ²放送大)</p> <p>T21 P 散開星団NGC7790のCCDによるBVR測光 定金晃三, 家嶋竜也(大阪教育大学), 尾久土正巳 (西はりま天文台)</p> <p>T22 P B型輝線星の国際共同観測 平田龍幸(京大理), 他共同観測参加者</p> <p>T23 P 低温磁変星HR7575の吸収線に及ぼす磁場の影響 加藤賢一(大阪市立科学館)</p> <p>T24 P 特異炭素星の炭素同位体組成比V.炭素星生成シナ リオの解明に向けて 大仲圭一, 辻 隆, 佐藤英男(東大理), 野口邦 男(名大理), 岡田隆史(OAO)</p> <p>T25 P Simultaneous Observations of ²⁸SiO and ²⁹SiO Maser Emissions from Evolved Stars Se-Hyung Cho(Nobeyama Radio Obs.& Korea Astronomy Obs.) and Nobuharu Ukita (Nobeyama Radio Obs.)</p> <p>T26 P Mira型変光星及びM型超巨星の近赤外測光観測 野口邦男(名大理), Z.Qian, J.Sun, G.Wang, J. Wang(北京天文台), 小林行泰(国立天文台)</p> <p>T27 P First result from international campaigns of Be stars(50ph) Eiji Kambe(Univ. of British Columbia, National Defense Academy), Ryuko Hirata(Kyoto Univ.) and Be star campaign group</p>	<p>【太陽】</p> <p>S13 P MAGNETO-THERMAL PULSATION OF THE SUN Hirokazu Yoshimura(Department of Astron- omy, University of Tokyo)</p> <p>S19 P 太陽黒点の自転速度の測定について 鈴木美好(津高校), 久保田 諄(花山天文台)</p> <p>S23 P DIFFERENTIAL ROTATION OF CORONAL HOLES Keiji Hayashi, Hirokazu Yoshimura(Dept. of Astronomy, Univ. of Tokyo)</p> <p>S21 P ダークフィラメント中のガスの速度場(II) 久保田諄(大阪経大), 時政典孝(西はりま天文台), 北井礼三郎, 上杉 明(京大理)</p> <p>S22 P 活動領域NOAA7321における磁場構造とフレア 川上新吾(大阪市立科学館), 一本 潔(国立天文 台)</p> <p>S23 P 1993年8月EFR共同観測 テネリフェVTT観測 報告 北井礼三郎(京大理天文台), 當村一朗(大阪府立 高専), 末松芳法(国立天文台), 秋岡眞樹(通総 研平磯), D.SOLTAU(KIS,ドイツ)</p> <p>S24 P Magnetic Field Evolution of Active Region NOAA 7562 T.Sakurai(NAOJ), H.Kurokawa(Hida Obs.), D.L.Mickey(Univ. Hawaii), H.Zhang, W.Li (Beijing Obs.), H.Zirin(BBSO, Caltech)</p> <p>S25 P 太陽活動領域に伴った電波源の円偏波極性の反転 柴崎清登, 他電波ヘリオグラフグループ(国立天 文台野辺山)</p>
	口頭 (15分)		
	シ ョ ー ト プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン (1分)		

- Y30P ブラックホール候補 X線星よりの X線の時間変動
宮本重徳, 橋本谷磨志, 北本俊二, 寺田健太郎,
根来 均 (阪大理)
- Y31P 「あすか」による X線パルサー Vela X-1 のスペクトル観測
長瀬文昭, Greg Zylstra (ISAS), Jonathan Woo (MIT), 他「あすか」チーム
- Y32P 「あすか」によるガンマ線バースト・リピーター源の発見
村上敏夫, 青木貴史, 蘭部 敬, 小賀坂康志 (宇宙研) + ASCA 班, 吉田篤正 (理研), 田中靖郎 (宇宙研)
- Y33P 近傍銀河からの γ 線バースト探査
吉田篤正 (理研), 小賀坂康志, 村上敏夫 (宇宙研), 「あすか」チーム
- Y34P SIS による X線偏光測定
鳥居研一, 常深 博, 三浦規之, 他
- Y35P ASCA による LMC 東部領域の観測
蘭部 敬, 伊藤真之, 青木貴史 (宇宙研), David J. Helfand (コロンビア大学), Eric Gotthelf (NASA/GSFC)
- Y36P 「あすか」による 楕円銀河 M87 の観測その 2
松本浩典, 粟木久光, 鶴 剛, 小山勝二 (京大・物理), 藤本龍一 (宇宙研), 廿日出勇 (宮崎大), 池辺 靖, 松下恭子, 牧島一夫 (東大・物理), 大橋隆哉 (都立大・物理), 山下広順, 田原 讓 (名大・物理), 常深 博 (阪大・宇宙地球), C.Canizares (MIT), A.C.Fabian (Cambridge), R.Mushotzky (GSFC), 他「あすか」チーム
- Y37P 「あすか」による IC342 等の渦巻銀河の観測
岡田京子 (東大理・ISAS), 牧島一夫 (東大理), 三原建弘 (理研) 他「あすか」チーム
- Y38P 「あすか」による 楕円銀河の観測
松下恭子, 深沢泰司, 牧島一夫 (東大理), 鶴 剛, 粟木久光, 松本浩典 (京大理), Canizares, Rasmusen (MIT), R.Mushotzky (GFSC), A.Fabian (Cambridge), 津坂佳幸 (名大理), 大橋隆哉 (都立大理), 「あすか」チーム
- Y39P 「あすか」による Cen A の観測
井上 一, 山本泰志 (宇宙研) ほか「あすか」チーム
- Y40P 近傍渦巻銀河内の X線源の Population
満田和久¹, 高野匡代¹, 青木貴史¹, 他あすかチーム (宇宙研)
- Y41P In Saerch of Hidden AGN in Nearby Galaxies
寺島雄一, 国枝秀世, 岩沢一司 (名大理), Peter J. Serlemitsos (NASA/GSFC)
- T28P 活動的アルゴル系及び候補系の主極小の測光観測 (光度曲線の形状と周期変化)
鳴沢真也 (宮城県石巻女子高), 中村泰久 (福島大・教育)
- T29P VV Cep 伴星のバルマー輝線領域
川畑周作 (京都学園大), 斎藤 衛 (京大理)
- T30P 近接連星系のパソコンシミュレーションソフトの作成
中村泰久 (福島大教育), 小川 慎 (福島県浪江中学)
- T31P 食連星の重力レンズ効果
田辺健茲 (岡山理科大・理)
- 【宇宙論】**
- W07P 銀河によるダスト隠蔽と多重 QSO の統計
富田憲二 (京大基研)
- W08P The Formation Rate of Bound Objects in Hierarchical Clustering Model
佐々木伸 (都立大・理)
- W09P He 入り recombination 及び宇宙の熱史に関する考察
千葉尚志 (東大理)
- W10P Sunyaev-Zel'dovich 効果を用いたハッブル定数の推定法の信頼性
稲垣祐一郎, 杉之原立史, 須藤 靖 (東大理)
- W11P Non-Steady Gas Accretion due to the Compton Drag
釣部 通 (東大理), 梅村雅之 (筑波大), 福江 純 (大阪教育大)
- W12P 角運動量の確率分布とその応用
須佐 元, 佐々木節 (京大理)
- W13P 星座グラフによる宇宙の大構造の定量化について
上田晴彦 (京大), 伊藤 誠 (京大計算機教育センター)
- W14P 6次元宇宙の幾何学的性質と4次元宇宙の物理的性質
福井尚生 (獨協大教養)
- W15P Bubbles with an O(3)-Symmetric Scalar Field in Curved Spacetime
坂井伸之, 前田恵一 (早大理工), Yoonbai Kim (名大理)
- W16P Axion Emission from Domain Walls
長澤倫康 (東大理), 川崎雅裕 (東大宇宙線研)
- W17P General Relativistic Dust Collapse in the Expanding Universe
小島康史 (都立大理学部)
- S26P ある Active Region で見られた内部コロナの温度構造と時間変化
武田 秋 (京大・理), 原 弘久, 一本 潔 (国立天文台)
- S27P 太陽コロナ大規模構造と活動領域との関係
小塚幸央, 小島正直 (名大 STE 研), 渡辺 堯 (茨城大理)
- S28P X-ray Filament/Plasmoid Ejections in Impulsive Limb Flares
K.Shibata¹, S.Masuda², M.Shimojo³, H.Hara², T.Yokoyama¹, N.Nitta⁴, S.Tsuneta², and T.Kosugi¹ (¹NAOJ, ²U. Tokyo, ³Tokai U., ⁴Lockheed)
- S29P Statistical Study of X-ray Jet found by Yohkoh/SXT II
下条圭美¹, 柴田一成², 橋本静代¹, 平山 淳² (¹東海大・理, ²NAOJ)
- S30P X-ray Jets and H α Surges in AR 7260
T Yokoyama, K Shibata (NAOJ), M Shimojo (Tokai Univ.), R C Canfield, K D Leka, K P Reardon, (Mees Solar Observ., Univ. Hawaii)
- S31P X-ray Jets/Loops Identified with H α Surges
大久保あかね¹, 松元亮治¹, 宮路茂樹¹, 下条圭美², 柴田一成³, 西野洋平³, 一本 潔³, 桜井 隆³ (¹千葉大理, ²東海大理, ³国立天文台)
- S32P サージの H α -X 線同時観測
秋岡真樹 (通信総研平磯), ようこうチーム
- S33P 1991年6月6日の巨大太陽フレアでの粒子加速
村木 綏, 佐藤元則, 安野志津子 (名大 STE 研), 柴田祥一 (中部大), 境 孝祐 (日大生産工学), 高橋一博 (理研), E.Pyle (シカゴ大)
- S34P 水星の日面通過データによる「ようこう SXT」の光軸決定
西尾正則, 小杉健郎, 渡辺鉄也, 相馬 充, 坂尾太郎 (国立天文台)
- S35P 太陽フレアにおける高エネルギー電子の方向性
森本幸司, 吉森正人, 須賀一治, 平岡卓也, 佐藤淳 (立大理), 河鱒公昭 (名大理), 大木健一郎 (国立天文台)
- S36P フレアループ上空の硬 X線源—カスプ状磁気リコネクションの証拠—
増田 智 (名大 STE 研), 小杉健郎, 原 弘久 (国立天文台), 常田佐久 (東大理)
- S37P 「ようこう」HXT によるディフューズ硬 X線源の観測
矢治健太郎, 小杉健郎, 坂尾太郎 (国立天文台), 増田 智 (名大 STE 研), 清水敏文 (東大理), 小出美香 (富山大工)

5月 17日(火)	会場A (中ホール)	会場B (小ホール)	会場C (集会室)
シ ョ ー ト プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン (1分)	Y 42 P X線天文衛星「あすか」によるかみのけ座銀河団の観測 本多博彦, 紀伊恒男(宇宙研), 田原 譲, 鎌田祐一, 山下広順(名大理), 他「あすか」チーム		S 38 P ようこう BCS による太陽フレアの解析 藤原朋子(愛知教育大), 加藤隆子(核融合研), ようこうチーム
	Y 43 P 「あすか」による Perseus Cluster の観測 江澤 元, 池辺 靖, 深沢泰司, 牧島一夫(東大理), 大橋隆哉, 山崎典子(都立大理), 他「あすか」チーム		S 39 P 太陽活動領域の温度構造とその形成 原 弘久, 一本 潔(国立天文台), 武田 秋(京大理)
	Y 44 P 「あすか」衛星による Hydra-A 銀河団の観測 II 池辺 靖, 牧島一夫(東大理), 本多博彦, 村上敏雄(宇宙研), Recharad Mushotzky (GSFC), 山下広順(名古屋大), 「あすか」チーム		S 40 P Gradual Flares の電波・X線観測 中島 弘, 電波ヘリオグラフグループ, フレア望遠鏡グループ(国立天文台), 陽光チーム
	Y 45 P 「あすか」による NGC1399, NGC1404/Fornax Cluster の観測 田村隆幸, 池辺 靖, 深沢泰司, 松下恭子, 牧島一夫(東大・物理), 新保和浩, 鶴 剛(京大・物理)		S 41 P 「電波ヘリオグラフ」で発見された Sub-Second Brightenings の性質 鷹野敏明(国立天文台野辺山)ほか電波ヘリオグラフグループ
	Y 46 P 「あすか」による小規模銀河団 WP23 の観測 深沢泰司(東大理), 津坂佳幸(名大理), 池辺 靖, 田村隆幸, 松下恭子, 牧島一夫(東大理), 大橋隆哉(都立大理), 山下廣順(名大理), 他あすかチーム		S 42 P 太陽コロナ磁場の可視化処理 勝間 豊, 小谷一孔(北陸先端大学院), 常田佐久(東大理・天文センター)
	Y 47 P ASCA による遠方の銀河団 C10016+16, A665 の観測 古澤彰浩, 山下廣順, 田原 譲, 津坂佳幸(名古屋大学), ほか「あすか」チーム		S 43 P 太陽コロナ中の逆転電流ループの MHD 不安定性 小出真路, 坂井純一(富山工大)
	Y 48 P Image Analysis of Cluster of Galaxies with Ray Tracing Program 秋元文江, 田原 譲, 山下広順, 古澤彰浩, 津坂佳幸(名大理)		S 44 P High energy electron accleration during coalescence of two current loops J.Zhao, J.-I.Sakai (Toyama Univ.), and K.-I. Nishikawa (Iowa Univ.)
	Y 49 P 3C273 における Soft X-ray Excess Component の変動 村上 聡, 中川道夫(大阪市大), 林田 清(大阪大学), 他「あすか」チーム		S 45 P フレアにおける相対論的電子の起源 大木健一郎, 梶野敏貴, 小笠原隆亮(国立天文台), P.N.Okeke (ナイジェリア大)
	Y 50 P あすか衛星による 3C279 の X 線スペクトルの観測 三浦規之, 林田 清(大阪大学理学部)およびあすかチーム		S 46 P 太陽コロナにおける MHD 緩和過程 草野完也, 鈴木喜雄, 西川恭治(広大理)
	Y 51 P X線天文衛星「あすか」によるクエーサー MR2251-178 の観測 大谷知行, 紀伊恒男, 横野文命(宇宙研)		S 47 P フレアのエネルギー変換(無衝突衝撃波)と「ようこう」のプロップ 平山 淳(国立天文台)
			S 48 P 光球における磁束管の安定性について 竹内彰継(米子高専)
			S 49 P 2つの電流シートの衝突から放出される磁気音波 長谷川陽一(富山大), 伏木敏朗(北電情報システムサービス), 坂井純一(富山大)
		S 50 P 磁気リコネクションに伴う粒子加熱現象の実験的検証 赤尾隆嘉, 小野 靖, 桂井 誠(東京大学工学部電気工学科)	
		S 51 P 次期太陽観測衛星搭載軟 X 線望遠鏡の検討 吉田 剛, 常田佐久, 清水敏文, 原 弘久, 鹿野良平(東大理天文センター)	

ショートプレゼンテーション (1分)	<p>Y52 P Extreme Fe K emission from the hidden quasar IRAS 09104+4109 Y. Shioya¹, A.C. Fabian², K. Iwasawa³, H. Kunieda³, K. Makishima⁴, T. Murayama¹, T. Ohashi⁵, Y. Tanaka⁶, Y. Taniguchi¹, Y. Terashima³, C. Crawford², M. Jex², R. Johnstone², R. McMahon², and K. Nandra² (¹Tohoku Univ., ²UK, ³Nagoya Univ., ⁴Univ. of Tokyo, ⁵Tokyo Metro. Univ., ⁶ISAS)</p> <p>Y53 P EGRET-selected AGN AO0235+164の「あすか」による観測 窪 秀利, 高橋忠幸, Madejski, 平山昌治, 松崎恵一, 釜江常好, 牧島一夫, 田代 信 (東大理), 山崎典子 (都立大理)</p> <p>Y54 P 「あすか」による1型セイファート銀河 NGC7469の観測 山内 誠, 三原建弘, 松岡 勝, L. Piro, M. Guainazzi (理化学研究所)</p> <p>Y55 P NGC1808の X線観測 — 活動的銀河中心核とスターバースト銀河とのリンク— 粟木久光, 小山勝二, 鶴 剛, 上野史郎 (京大), 岩澤一司 (名大)</p> <p>Y56 P あすか衛星による X線背景放射の空間的揺らぎの観測 林田 清, 鳥居研一 (大阪大理), 小賀坂康志, 紀伊恒夫, 井上 一 (宇宙研), 他 あすかチーム</p>	<p>S52 P 次期太陽観測衛星光学観測システムの目的と設計方針 末松芳法, 桜井 隆, 一本 潔, 平山 淳 (国立天文台), 秋岡真樹 (通総研平磯), 鹿野良平, 常田佐久 (東大理)</p> <p>S53 P イメージングファブリーペロー干渉計による太陽コロナの観測 大谷 浩, 石垣 剛, 前村浩之, 一本 潔*, 野口本和* (京大理, *国立天文台)</p> <p>S54 P 11月3日, 南米皆既日食観測計画 一本 潔, 熊谷収可, 佐野一成, 桜井 隆 (国立天文台)</p>
--------------------	--	---

10:30 **ポスター発表** 会場D (展示室, 展示ホール)
【太陽】【恒星】【宇宙論】【ASCA】

11:30 口頭 (15分)	<p>【ASCA】</p> <p>Y04 あすかによる銀河中心の観測 前田良知, 小山勝二 (京大), 山内茂雄 (岩手大)</p> <p>Y05 ジェットと超新星残骸の相互作用—SS433への応用 村田健治, 柴崎徳明 (立教大理)</p> <p>Y06 重元素からの輝線による EX Hya のプラズマ診断 石田 学 (宇宙研), 向井浩二 (NASA), J.P. Osborne (レスター大)</p> <p>Y07 低質量 X線連星 GX5-1からの X線の短時間変動のエネルギー依存性 鎌土恭秀, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大・理)</p>	<p>【恒星】</p> <p>T04 中心天体の放射場中の降着円盤の時間変化 三分一清隆, 福江 純 (大阪教育大), 嶺重 慎 (京大理), 梅村雅之 (筑波大)</p> <p>T05 原始星の FIR H-R 図: グロビュール中の原始星の場合 斎藤 衛, Thomas Djameluddin (京大理)</p> <p>T06 A型特異星の振動における磁場の四重極子成分の影響 高田将郎, 柴橋博資 (東大理)</p> <p>T07 RV Tau型変光星の多色偏光観測 吉岡一男 (放送大), 西城恵一 (国立科学博物館), 佐藤英男 (東大理)</p>	<p>【太陽】</p> <p>S04 ようこう HXT による白色光太陽フレアの硬 X線源の観測 坂尾太郎, 小杉健郎, 矢治健太郎 (国立天文台), 増田 智 (名大 STE 研), H.S. Hudson (ハワイ大), 小出美香 (富山大工), 牧島一夫 (東大理), ほかようこうチーム</p> <p>S05 太陽フレアにおける硬 X線源の形態変化 小出美香, 坂井純一 (富山大・工), 牧島一夫, 高倉達雄 (東大・理), 小杉健郎, 坂尾太郎, 矢治健太郎 (国立天文台), 増田 智 (名大 STE 研)</p> <p>S06 沿磁力線電場による粒子加速 常田佐久 (東大理・天文センター)</p>
-------------------	---	---	--

- V21P Collapse of spherical stellar systems: the core structure
T.Fujiwara (Kyoto City Univ. of Arts), S. Hozumi (Shiga Univ.)
- V22P cold collapse における速度分散の成長
官谷幸利, 佐々木節, 土屋俊夫(京大理), 郷田直輝(阪大理)
- V23P 超高速多体問題専用計算機による星団・銀河・銀河団の進化の研究 III
杉本大一郎, 泰地真弘人, 牧野淳一郎, 戎崎俊一(東大教養)
- V24P N 体系での二体緩和
福重俊幸, 牧野淳一郎(東大教養), Piet Hut (IAS)
- V25P MD chip: 任意中心力を計算できる多体問題専用 LSI
泰地真弘人, 牧野淳一郎, 福重俊幸, 戎崎俊一, 杉本大一郎(東大教養), 清水明宏, 高田 亮(画像技研)
- V26P バルジの化学力学進化
辻本拓司(国立天文台), 茂山俊和, 野本憲一(東大理)
- V27P PV-diagram が語る edge-on 銀河のバー構造
和田桂一(北大情教セ), 羽部朝男(北大理), 長谷川哲夫, 祖父江義明(東大理セ), 谷口義明(東北大理)
- V28P 銀河における分子前線 I. CO vs HI on Position-Velocity Diagram
祖父江義明, 本間希樹, 有本信雄(東大理天文センター)
- 【その他】**
- Z01P NTT 六甲天文通信館 遠隔制御・伝送システム
小倉千信 (NTT 関西長距離通信事業部), 秋田 勲 (NTT ファシリティーズ)
- Z02P 天文学ミニマム (宇宙物理学教程) の理想と現実
大阪教育大学地学教室天文学研究室, 福江 純(大阪教育大)
- Z03P PASJ に投稿すべきか? IV. 1987年に発表された日本の天文学・天体物理学論文の被引用頻度
寿岳 潤 (東海大・文明研)

- T45P X線天文衛星「あすか」による超新星残骸中の X 線点源の観測
青木貴史, 堂谷忠靖, 石田 学, ほか「あすか」チーム
- T46P 「あすか」による超新星 SN1993J からの X 線の観測
香村芳樹, 石崎尚尚, 牧島一夫(東大理), 小谷太郎, 石田 学, 青木貴史, 岡田京子, 井上 一, 田中靖朗(宇宙科学研究所), 津坂佳之(名大理), 「あすか」チーム
- T47P X-rays from Pulsar Activity in Supernovae
熊谷紫麻見, 鈴木知治, 茂山俊和, 野本憲一(東大理)
- T48P 組成・速度勾配依存の吸収係数を用いた Ia 型超新星の光度曲線
山岡 均(九大教養), 野本憲一, 茂山俊和(東大理)
- T49P Instabilities and Mixing in SN 1993J
K.Iwamoto, I.Hachisu, T.Shigeyama, K.Nomoto (Univ. of Tokyo), H.Saio (Tohoku Univ.), H. Yamaoka (Kyushu Univ.)
- T50P プラズマニュートリノ・エネルギー損失率における軸性ベクトル流の寄与
林 浩史, 小浜昭彦, 伊藤直紀(上智大理工), 神山泰治(富士総研)
- T51P パルサーの固有速度と磁場の相関
平木健太郎, 伊藤直紀(上智大理工)
- T52P 有限温度の核物質状態方程式と中性子星の最短周期
橋本正章(九大理), 江里口良治(東大教養), 親松一浩(名大工)
- T53P 軸対称ニュートリノ放出と超新星爆発のメカニズム
清水鉄也, 山田章一, 佐藤勝彦(東大理)
- T54P CANGAROO 望遠鏡によるガンマ線パルサーからの TeV ガンマ線観測
田村忠久, 木舟 正(東大宇宙線研), 谷森 達, 荻尾彰一, 吉越貴紀, 塚越 努(東工大), 松原 豊, 村木 綏(名大 STE 研), 原 忠生(弓削商船高専)
- T55P γ 線パルサーの放射機構
ポーラキャップとアウトガッパの併存
関本裕太郎, 釜江常好(東大理)
- T56P MACHO は Brown Dwarf か?
中村卓史(基研)
- T57P 相対論的な非軸対称回転星の準定常解
野澤哲生(東大・理・天文), 江里口良治(東大・教養)
- T58P 高速回転するポリトロープの重力波放出による secular 不安定
吉田慎一郎(東大理), 江里口良治(東大教養)

【天体力学】

- Q03P 冥王星の軌道運動のカオス
木下 宙, 中井 宏(国立天文台)
- Q04P 軌道の数値計算の信頼性について
稲垣省五(京大理)
- Q05P 時間反転に対して対称な可変時間ステップ積分公式について
牧野淳一郎(東大教養), Steve McMillan (Drexel Univ.), Piet Hut (IAS)

【観測機器・情報処理】

- X22P 天文データベース便利帳第2版・IRAF クックブック第2版増補2号
高田唯史, 太田耕司(京大理), 市川伸一(国立天文台), 浜部 勝(東大理), 「天文情報処理研究会」
- X23P 公開天文台ネットワーク模擬実験
綾仁一哉(美星天文台), 尾久土正己(西はりま天文台), 宮坂正大(東京都庁), 渡部義弥(大阪市立科学館), 市川伸一, 佐々木敏由紀, 沖田喜一, 吉田道利, 渡部潤一(国立天文台), 浜部 勝(東大理センター), 吉田重臣, 青木 勉(東大木曾観測所), 洞口俊博(国立科学博物館), 金光 理(福岡教育大), 天文情報処理研究会公開天文台ネットワーク WG
- X24P GPS 受信機を用いたネットワーク時刻同期の実験
松田 浩, 福島登志夫, 久保浩一, 堀合幸次(国立天文台), 大野浩之, 新美 誠, 谷口 崇, 石井秀治, 鈴木茂哉, 林 聡子, 民田雅人(WIDE プロジェクト)
- X25P 早稲田 FFT 型電波望遠鏡における位相トラッキング
齋藤友博, 乙部英一郎, 荒蒔義孝, 小林寛美, 田中尚樹, 高木真由美, 木元大祐(早稲田・理工), 大師堂経明(早稲田・教育)
- X26P 2次元デジタルレンズ——コリレーター型干渉計としての利用法
乙部英一郎, 中島潤一, 田中尚樹, 遊馬邦彦, 大師堂経明(早稲田理工, 教育)
- X27P Quasar 3C273及び active galaxy 3C84のモニター観測
小林寛美, 中島潤一, 乙部英一郎, 渡辺真企, 荒蒔義孝, 齋藤友博, 田中尚樹, 高木真由美, 星川知之, 木元大祐(早大理工), 遊馬邦之(草加高校), 西堀一彦(SONY), 大師堂経明(早大教育)

5月 18日(水)	会場A (中ホール)	会場B (小ホール)	会場C (集会室)
シ ョ ー ト プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン (1分)		<p>T59 P ブラックホールの周りの中性子トロイド 西田昌吾, 江里口良治 (東大教養)</p> <p>T60 P カー・ブラックホールにおける重力衝撃波 II 佐村敏治 (神戸大自然), 林 浩一 (近畿大理工)</p> <p>T61 P ブラックホールの熱力学的ゆらぎと蒸発 岡本 功, J.Katz (国立天文台水沢)</p>	<p>X28 P 早稲田8×8FFT 型電波干渉計による試験サーベイおよび Deconvolution 田中尚樹, 乙部英一郎, 荒蒔義孝, 小林寛美, 斎藤友博, 高木真由美, 木元大祐 (早大理工), 大師堂経明 (早大教育)</p> <p>X29 P ミリ波 VLBI における新しいイメージング法 片桐征治 (電気通信大), 川口則幸, 森田耕一郎 (国立天文台)</p> <p>X30 P 国内3局による θ-z 観測計画 川口則幸¹, 松本欣也², 亀野誠治¹, 今江理人³, 木内 等³, 面高俊宏⁴ (¹国立天文台・野辺山, ²電気通信大学, ³通信総合研究所, ⁴鹿児島大学)</p> <p>X31 P VLBI 用4Gbps 高速サンプラーの評価 松本欣也 (電気通信大), 川口則幸 (国立天文台), 野辺山 VLBI グループ</p> <p>X32 P 国立天文台 VLBI 3局ネットによる H₂O メーザ源のマッピング観測 山口伸行¹, 三好 真², 宮地竹史², 亀谷 收³, 柴田克典³, 面高俊宏¹, 川口則幸², 河野宣之³, 森本雅樹¹他, 国立天文台・野辺山・水沢, 鹿児島大学 VLBI グループ (¹鹿児島大学, ²国立天文台・野辺山, ³国立天文台・水沢)</p> <p>X33 P 野辺山ミリ波干渉計6素子化 森田耕一郎, 石黒正人, 川辺良平, 奥村幸子, 神沢富雄, 中島 潔, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 山口千栄子, 大橋永芳, 服部邦彦, 堤 貴弘 (国立天文台・野辺山)</p> <p>X34 P A New Type of SIS Mixer Using Parallely Connected Junctions S.C.Shi, T.Noguchi, and J.Inatani (Nobeyama Radio Observatory)</p> <p>X35 P フェイズ・レトリバーバル・ホログラフィ法における初期値依存性と推定誤差 西堀俊幸 (上智大), 平林 久, 小林秀行, 村田泰宏 (宇宙研)</p> <p>X36 P 200GHz~300GHz 帯超伝導ミキサ受信器の開発 福井康雄, 水野 亮, 鈴木和司, 小林和宏, 小川英夫 (名大理), 鈴木秀雄 (富士通研), 鈴木 実 (富士通 VLSI)</p>

シヨトプレゼンテーション (1分)			X37 P 4 アンテナ VLBI の実験結果 (2) 朝木義晴(総研大), 河野宣之, 笹尾哲夫, 佐藤克久, 亀谷 收, 原 忠徳, 久慈清助, 川口規幸, 井上 允, 御子柴廣, 宮地竹史, 三好 真, 亀野誠二(国立天文台), 高橋幸雄, 今江理人, 岩田隆浩, 小山泰弘, 花土ゆう子, 雨谷 純(通信総合研究所), 松本欣也(電気通信大学), 安田 茂, 森本雅樹(鹿児島大学), 藤下光身, 吉山孝晴(九州東海大学) X38 P 通信総研におけるパルサーサーベイ観測計画 今江理人, 関戸 衛, 花土ゆう子(通信総研鹿島), 小島正宜, 三澤浩昭(名大 STE 研) X39 P 石垣島における VERA 計画サイト調査 河野宣之, 亀谷 收(国立天文台水沢)
10:30	ポスター発表 【位置天文学】【天体力学】【太陽系】【恒星】【星間現象】【銀河・銀河団】【観測機器・情報処理】【その他】		会場D (展示室, 展示ホール)
11:30	【星間現象】 U04 星間雲の非軸対称衝突による星形成の励起 木村 徹, 羽部朝男(北大理) U05 回転, 磁気分子雲の動的収縮過程 II 太田完爾, 羽部朝男(北大理) U06 Orion-IRc2の SiO メーザーの偏波観測計画 太田栄治, 坪井昌人(茨城大理), 春日 隆(法政大工), 村田泰宏(ISAS), 半田利弘(東大天文センター) U07 近赤外ファブリペロイメージング IX オリオンプライトバー領域と KL 天体における H ₂ 強度比 白田知史, 菅井 肇, 川端拓信, 高見道弘, 井上素子, 片坐宏一, 田中培生(東大理)	【恒星】 T19 ブラックホール磁気圏中での電磁的プラズマ加速 堀内真司(東北大・理), 岡本 功(国立天文台), L.Mestel(サッセックス大) 【銀河・銀河団】 V01 一次元自己重力多体系の微視的運動状態の解析 土屋俊夫, 小西哲郎, 郷田直輝(京大理, 名大理, 阪大理) V02 A Self-Consistent Field Method: 無衝突恒星系の数値計算法 穂積俊輔(滋賀大教育), Lars Hernquist(UCSC) V03 1次元 Violent Relaxation について 野桜俊也(北大・理)	【観測機器・情報処理】 X01 明るくなる“電波の空”—電波天文観測環境の保護— 齋藤泰文, 石黒正人, 川口則幸, 宮澤敬輔, 大石雅壽, 井上 允(国立天文台野辺山), 森本雅樹(鹿児島大) X02 可搬型電波シーイングモニターの改良 齋藤正雄(東大理), 石黒正人, 川辺良平(NRO), 武井健寿(日本通信機) X03 VLBI を用いたホログラフィによる鏡面測定法の開発 (II) 北川隆宏 ¹ , 川口則幸 ² , 宮地竹史 ² , 面高俊宏 ¹ , 宮崎智行 ¹ , 浮田信治 ² (¹ 鹿児島大学, ² 国立天文台・野辺山) X04 等仰角遅延差分法 VLBI 下平 禪(信州大), 川口則幸(国立天文台野辺山), 片桐征治(電通大)
12:30	昼休み		評議員会 (第1会議室)
13:30	【星間現象】 U08 HH jet に伴う巨大 bow shock と間欠的質量放出活動 小倉勝男(国学院大) U09 ミリ波帯連続波による M17 のマッピング観測 平尾孝憲, 松本敏雄, 松原英雄(名大理), A.E. Lange(U.C.Berkeley)	【銀河・銀河団】 V04 Violent Relaxation in a High Virial Ratio One Dimensional Galaxy Bruce N. Miller, Charles Reidl(Texas Christian University) V05 OHS による重力レンズ天体 MG0414+0534 の観測 大屋 真, 舞原俊憲, 岩室史英, 塚本宏之(京大理) V06 ステラジアン望遠鏡による MACHO 探索 戎崎俊一(東大教養)	【観測機器・情報処理】 X05 64素子干渉計用簡易駆動系の設計——ギア化—— 大師堂経明, 斉藤友博, 乙部英一郎, 中島潤一, 田中尚樹, 小林寛美, 高木真由美, 荒巻義孝, 渡辺直企, 木元大祐, 鈴木芽依(早大教, 理)

5月 18日(水)	会場A (中ホール)	会場B (小ホール)	会場C (集会室)
口頭 (15分)	<p>U10 CO ($J=2-1$) 輝線による W3領域の観測 佐藤功美子, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 岡 朋治, 瀬田益道, 徂徠和夫, 高桑繁久, 森野潤一(東大理), 木村 修, 新永浩子(東京学芸大)</p> <p>U11 超新星と分子雲との相互作用 瀬田益道, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 岡 朋治, 佐藤功美子, 徂徠和夫, 高桑繁久, 森野潤一(東大理), 木村 修, 新永浩子(東京学芸大)</p>	<p>V07 衝突を経験した銀河団での青い色の銀河の分布 富田晃彦, 中村文隆, 太田耕司, 山田 亨, 高田唯史(京大理)</p>	<p>X06 長基線光赤外干渉計計画 西川 淳(通総研・平磯), 春日 隆(法政大・工), 佐藤弘一, 福島登志夫(国立天文台), 早野 裕(東大・理), 森田耕一郎, 石黒正人(国立天文台・野辺山), 上野宗孝(東大・教養), 圓谷文明(総研大), 馬場直志(北大・工), 笹尾哲夫(国立天文台・水沢), 他計画推進グループ</p> <p>X07 岡山多目的近赤外カメラ(OASIS)の開発—検出器の性能評価— 奥村真一郎, 森 淳(東大・理・天文), 山下卓也(国立天文台), 西原英治(総研大), 片坐宏一(東大・理・天文センター)</p> <p>X08 イメージングファブリケーター干渉計の開発 II. エタロンの温度特性について 石垣 剛, 前村浩之, 青木賢太郎, 小杉城治, 富田良雄, 大谷 浩, 佐々木実*(京大理, *下関市大)</p>
14:30	<p>ポスター発表 会場D (展示室, 展示ホール) 【位置天文学】【天体力学】【太陽系】【恒星】【星間現象】【銀河・銀河団】【観測機器・情報処理】【その他】</p>		
16:00	研究奨励賞受賞記念講演		
16:30	総会		
18:30 20:30	懇親会		
5月 19日(木)	会場A (中ホール)	会場B (小ホール)	会場C (集会室)
口頭 (15分)	<p>【星間現象】</p> <p>U12 星形成領域のミリ波偏光観測—低質量原始星とTタウリ型星 田村元秀, 林左絵子(国立天文台), J.H.Hough(U. of Hatfield)</p> <p>U13 おうし座領域の^{13}CO, C^{18}O 輝線による分子雲コア探査 大西利和, 水野 亮, 河村晶子, 小川英夫, 福井康雄(名大理)</p> <p>U14 カシオペア座の暗黒星雲 L1358の^{13}CO ($J=1-0$) 輝線による観測 山崎英人, 佐藤文男(東京学芸大), 福井康雄(名大理)</p>	<p>【銀河・銀河団】</p> <p>V08 円盤銀河における等輝度楕円の軸比・長軸の位置角 宮澤邦夫, 水野孝雄(東京学芸大学)</p> <p>V09 Modified Newtonian Dynamics を用いた polar ring 銀河の回転曲線 森嶋隆裕, 斎尾英行(東北大理)</p> <p>V10 ボトムアップシナリオにおける銀河形成の星形成 西 亮一(京大理)</p>	<p>【観測機器・情報処理】</p> <p>X09 メンブレン可変形鏡の開発 高見英樹(通信総研)</p> <p>X10 実時間型 Shift-And-Add 法による天体スペックル分光の検討 穂積綱樹, 桑村 進, 馬場直志(北大工)</p> <p>X11 レンズアンテナ面の設計 豊増伸治(豊橋技科大工), 近田義広(国立天文台), 藤巻正樹(理研)</p>

【星間現象】

- U36P 巨大惑星と原始惑星系円盤の潮汐相互作用
竹内 拓, 小林謙一(総研大), 観山正見(国立天文台)
- U37P 薄い降着円盤の定常構造
成田真二(同志社大), 木口勝義(近畿大), 林忠四郎
- U38P 原始惑星系円盤におけるガス-ガス分離不安定
中山薫二(京大理)
- U39P 中心星との相互作用による降着円盤の進化
藤本正行(新潟大教育)
- U40P T Tauri 型星のフラットスペクトルを説明するモデル
横野安則, 中本泰史, 観山正見(国立天文台), 千葉博嗣(東京理科大学)
- U41P T Tau の伴星 (T Tau S) の小さなアウトバースト
小林尚人, 長田哲也(京大理), Hodapp, K.-W., Hora, J. (IfA, Univ. of Hawaii)
- U42P T タウリ型星周囲の分子雲コアの¹³CO (J=1-0) 及び C¹⁸O (J=1-0) 観測
大橋永芳¹, 百瀬宗武², 林 正彦³, 砂田和良¹ (NRO, ²東大理・地球惑星, ³NAO)
- U43P 星形成領域 W51における CO (J=2-1) 輝線の観測
森野潤一, 高山隆児, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 岡 朋治(東大・理), 木村 修(東京学芸大)
- U44P オリオン座 A 分子雲の分子流サーベイ
亀谷 收(国立天文台水沢), 梅本智文(国立天文台野辺山), 平野尚美(一橋大), 立松健一(テキサス大)
- U45P 大熊座分子雲 III. 銀河面からの距離
関 宗蔵, 松村雅文¹, 河原 稔, 林 薫(東大理, ¹香川大教育)
- U46P 大熊座星間雲のミリ波 CO 線観測
松原英雄, 川田光伸, 松浦周二, 米倉覚則, 水野亮, 福井康雄(名大理)
- U47P カシオペア座の暗黒星雲 L1333の C¹⁸O 輝線観測
尾林彩乃, 佐藤文男(東京学芸大), 米倉覚則, 福井康雄(名大理)
- U48P ¹³CO (J=1-0) によるオリオン A 分子雲南部の高感度な観測
長濱智生, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄(名大理)
- U49P 双子座・ぎょしゃ座領域の¹³CO 分子スペクトル観測
河村晶子, 米倉覚則, 大西利和, 立原研悟, 長濱智生, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄(名大理)

【銀河・銀河団】

- V29P 星間ガス雲の衝突と球状星団の形成
藤本光昭, 隈井泰樹(名古屋大学理学部物理学教室)
- V30P BSS 磁場によるガスの渦状腕の形成
沢 武文・加藤雄治(愛知教育大学), 藤本光昭(名大理)
- V31P 銀河円盤からの X 線放射と電子加速
山崎典子, 大橋隆哉, 高原文郎(都立大理), 山内茂雄(岩手大人文社会)
- V32P M31中心角領域の速度場, 速度分散場のパラドックス
多賀正敏(東大天文), 家 正則(国立天文台)
- V33P Rainbow による NGC 1275中心部の CO 輝線 1" 分解能観測
井上素子(総研大), 亀野誠二, 川辺良平, 浮田信治, 井上 允(国立天文台野辺山), 田中培生(東大理), 石附澄夫(東北大)
- V34P 横向き S0 銀河 NGC4474の成分分解
中丸昌和, 水野孝雄(東京学芸大学)
- V35P 渦状銀河と巨大楕円銀河の合体
小島 誠, 野口正史(東大理)
- V36P 非等方的な速度分布を持つ球状星団の進化
高橋広治(阪大理)
- V37P 銀河画像データベース検索システムの製作
横尾武夫, 高原稔(大阪教育大学)
- V38P MACHO と種族 III の星の探索
杉山 清, 藤本正行(新潟大教育), Icko Iben, Jr. (イリノイ大)
- V39P Microlensing の主像と副像
細川瑞彦, 大西浩次(通信総研関西), 福島登志夫(国立天文台), 竹内 峯(東北大天文)
- V40P 高赤方変移重力レンズ天体の CO 観測
太田耕司, 山田 亨(京大理), 川辺良平(NRO), 河野孝太郎(東大理), 山田竜也, 池内 了(阪大理), E.L.Turner (Princeton Univ.), J.N.Hewitt (MIT)
- V41P The CO Tully-Fisher Relation for the Virgo Cluster
Franz Schöniger, 祖父江義明(東大理)
- V42P 銀河団内の乱流磁場による粒子加速
大野 寛(東北大天文), 柴田晋平(山形大理)
- V43P ASCA observations of Ophiuchus Cluster of Galaxies
松澤英之(埼玉大, 理研), 松岡 勝, 三原建弘(理研), 山内茂雄(岩手大) 他 ASCA チーム

【観測機器・情報処理】

- X40P 2800MHz 太陽電波観測システムの受信レベル校正
磯辺 武, 近藤哲朗(通信総研平磯)
- X41P Si: P 中間赤外線検出器の低背景放射環境における応答特性
高橋英則, 度會英教, 松原英雄, 松本敏雄(名大理)
- X42P 256×256 InSb engineering array の動作試験
上水和田, 松本敏雄, 渡部豊喜(名大理)
- X43P 低 Ga 濃度 Ge: Ga 半導体遠赤外線検出器の性能
廣本宜久, 藤原幹生, 荒木賢一(郵政省通信総合研究所)
- X44P 衛星搭載光学機器のコンタミネーションの定量的評価と紫外領域の絶対校正及び測光について
山口朝三(国立天文台), 常田佐久(東大理)
- X45P 導波路型イメージスライサーの性能評価
周藤浩士, 高見英樹(通信総合研究所)
- X46P 天体測光による地球大気成層圏エアロゾル検出の試み
伊藤 胖, 柿崎維永(秋田大学)
- X47P アパーチャマスキング法による光開口合成実験
早野 裕(東大理天文), 西川 淳(通信総研平磯), 森田耕一郎, 石黒正人(国立天文台野辺山)
- X48P 60cm 望遠鏡 SNG のグレードアップ
青木賢太郎, 石垣 剛, 前村浩之, 小杉城治, 冨田良雄, 大谷 浩(京大理)
- X49P マイクロレンズアレイ分光器の開発 II. 光学系
佐々木実(下関市大), 大谷 浩, 青木賢太郎, 冨田良雄, 石垣 剛, 前村浩之, 小杉城治(京大理), 吉田道利, 能丸淳一(国立天文台)
- X50P マイクロレンズアレイ分光器の開発 II. CCD カメラ
前村浩之, 石垣 剛, 青木賢太郎, 小杉城治, 冨田良雄, 大谷 浩, 佐々木実*, 能丸淳一**, 関口真木** (京大理, *下関市大, **国立天文台)
- X51P 開発/教育用小型赤道儀望遠鏡の製作
佐藤修二, 市川善康, 千坂高雅, 中屋秀彦, 山室智康, 野口邦男(名大理), 若木守明(東海大工), 難波義治(中部大工)
- X52P 天体検出の新しいアルゴリズム
安田直樹, 岡村定矩(東大・理)
- X53P 2色スペックル法による高分解能結像の検討
馬場直志, 桑村 進, 三浦則明(北大工), 乗本祐慈(国立天文台)
- X54P ピーク検出 Tip/Tilt 補正のシミュレーション
高遠徳尚(国立天文台)

5月 19日(木)	会場A (中ホール)	会場B (小ホール)	会場C (集会室)
ショートのプレゼンテーション (1分)	U50 P へび座・へびつかい座領域の ¹³ CO 広域観測 立原研悟, 米倉覚則, 河村晶子, 大西利和, 長濱智生, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大・理)	V44 P 銀河団の束縛質量分布を X 線観測データからモデルを使わずに導出する方法 松浦正和, 三好 蕃 (京産大理)	X55 P すばる望遠鏡の建設 唐牛 宏, すばるプロジェクト室 (国立天文台)
	U51 P セフェウス・カシオペア座の分子雲サーベイ 米倉覚則, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理), 尾林彩乃, 佐藤文男 (東京学芸大), 土橋一仁 (大阪府立大)	V45 P バイアスを補正した大規模流モデル 市川 隆, 渡辺 大 (東大理), 福来正孝 (京大基研)	X56 P 「すばる」山頂工事進捗状況報告 宮下暁彦, 唐牛 宏, 野口 猛, すばるプロジェクト室 (国立天文台)
	U52 P 名大 4 メートル電波望遠鏡による銀河系分子雲 ¹³ CO (J=1-0) サーベイ 水野 亮 ¹ , 福井康雄 ¹ , 米倉覚則 ¹ , 長濱智生 ¹ , 大西利和 ¹ , 立原研悟 ¹ , 河村晶子 ¹ , 萩原喜昭 ¹ , 小川英夫 ¹ , 土橋一仁 ² , B.G.Kim ³ (1名大理, 2大阪府立大総合科学, 3韓国電波天文台)	V46 P 系外電波源スペクトルの統計的研究 (II) 岡田年明, 谷塚 昇 (大阪府立大総合科学), 田原博人 (宇都宮大教育)	X57 P すばる望遠鏡の8m 主鏡の一体接合に成功 安藤裕康, 家 正則 (国立天文台), 三神 泉, 佐々木亜紀, 西口憲一, 下山典子 (三菱電機), R.Smith, D.Kloeber, T.Hobbs, W.Powell, M.Edwards (Corning Inc.)
	U53 P 中間赤外-遠赤外域の星間拡散放射光超過 尾中 敬 (東大・理院), 田辺俊彦 (東大・理)	V47 P 大規模22GHz VLBI サーベイ観測 藤沢健太 (東大理), サーベイグループ	X58 P すばる望遠鏡の基本光学系 主鏡-副鏡系の最適化 林左絵子, すばるプロジェクト室 (国立天文台)
	U54 P 分子雲中の赤外線源の3μm 帯分光偏光観測 後藤亮治, 川内直也, 小林尚人, 長田哲也 (京大理)	V48 P High-z Radio Galaxy 53W002は形成中? 山田 亨, 太田耕司, 高田唯史, 富田晃彦 (京大理)	X59 P すばる用 OHS の設計と開発状況 岩室史英, 舞原俊憲, 大屋 真, 塚本宏之 (京大理), D.N.B.Hall, L.L.Cowie (Univ. Hawaii; IfA)
	U55 P Supernova driven Parker Instability in Galactic Disk and Halo 釜谷秀幸, 嶺重 慎 (京大理), 柴田一成 (国立天文台)	V49 P Hawaii167: High-z Post-Starburst 銀河? 舞原俊憲, 岩室史英, 大屋 真, 塚本宏之 (京大理), Len Cowie (ハワイ大 IfA)	X60 P すばるの計算機——ソフト・ハードの開発に向けて 近田義広, 佐々木敏由紀, 市川伸一, 小笠原隆亮, 能丸淳一 他 すし・すかグループ
	U56 P 遠赤外線による銀河面サーベイ観測 I: 観測結果 芝井 広 ¹ , 川俣洋史 ² , 巻内慎一郎 ³ , 広本宣久 ³ , 奥田治之 ¹ , 村上 浩 ¹ , 中川貴雄 ¹ , 奥村健市 ^{4,5} , 青木憲一 ^{1,6} , 東矢高尚 ^{1,5} , 藤原幹生 ³ , 川端 潔 ² (1宇宙研, 2東理大理, 3通総研, 4天文台野辺山, 5東大理, 6都立科技大)	V50 P 衝撃波を伴う降着流の1次元・2次元シミュレーション 信田浩司, 花輪知幸 (名大理)	X61 P すばる計算機システム 小笠原隆亮, 他「すし・すか」チーム (国立天文台)
	U57 P 遠赤外線による銀河面サーベイ観測 II: 星間塵の温度分布 巻内慎一郎 ¹ , 川俣洋史 ¹ , 芝井 広 ² , 広本宣久 ³ , 奥田治之 ² , 村上 浩 ² , 中川貴雄 ² , 奥村健市 ^{4,5} , 青木憲一 ^{2,6} , 東矢高尚 ^{2,5} , 藤原幹生 ³ , 川端 潔 ¹ (東理大理, 2宇宙研, 3通総研, 4天文台野辺山, 5東大理, 6都立科技大)	V51 P ディスク・コロナモデルからの X 線反射成分とライン放射 中村香織, 尾崎洋二 (東大理)	X62 P すばる望遠鏡制御用計算機システム 田中 済, 佐々木敏由紀, 野口 猛, 沖田喜一 (国立天文台), 伊藤富美夫, 香月良夫 (三菱電機), 他制御系分科会メンバー
	U58 P 遠赤外158μm 連続波サーベイ観測: 星間塵の温度分布 東矢高尚 ^{1,2} , 中川貴雄 ¹ , 油井由香利 ^{1,2} , 土井靖生 ^{1,2} , 望月賢治 ^{1,2} , 奥田治之 ¹ , 芝井 広 ¹ , 西村徹郎 ³ , F. J.Low ⁴ (1宇宙研, 2東大理, 3国立天文台, 4アリゾナ大)	V52 P 高エネルギー電子とプレーザーからのガンマ線放射 井上 進, 高原文郎 (都立大理)	X63 P CIAO のシミュレーション 伊藤洋一 (東大・理・天文), 高遠徳尚, 高見英樹, 田村元秀 (国立天文台)
		V53 P ブラックホールシンドローム 音無響子, 福江 純 (大阪教育大)	X64 P 水星の日面通過の X 線観測 小川原嘉明 (宇宙研), 原 弘久, 清水敏文 (東大理), 西尾正則, 小杉健郎, 渡邊鉄哉, 相馬 充 (国立天文台), S.Freeland, J.Lemen (LPARL), H. Hudson (U. Hawaii)
		V54 P ブラックホール近傍降着円盤の安定性と力学的進化 横沢正芳 (茨城大・理)	X65 P Galactic UV and EUV Observation with Rocket Borne Multilayered X-ray telescope K Ikeda, K Yamashita, H Kunieda, T Yamazaki (Nagoya Univ.) and others
		V55 P OVV クエーサー 3C279 の多波長同時観測 横野文命, 紀伊恒男, 佐々木浩一, 大谷知行, 藤本龍一 (宇宙研), 田代 信 (東大), R.Hartman (NASA/GSFC), H.Terasranta (Helsinki 大学)	
		V56 P QSO の吸収線系と銀河ハローの進化 2 傳田紀代美 (東大理), 池内 了 (阪大理)	
		V57 P OAO-SNG によるクエーサー Mkn 1014 の EELR の観測 小杉城治, 大谷 浩, 青木賢太郎, 前村浩之, 石垣 剛 (京大理), 吉田道利 (国立天文台)	
		V58 P AGN 降積円盤—コロナの鉛直構造と輻射スペクトル 志村俊也, 高原文郎 (都立大理), 嶺重 慎 (京大理)	

シ ョ ー ト プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン (1分)	U59 P Cygnus X 領域に於ける, 拡散 H II 領域からの [C II] 輝線輻射 土井靖生 ^{1,2} , 中川貴雄 ¹ , 望月賢治 ^{1,2} , 油井由香利 ^{1,2} , 奥田治之 ¹ , 芝井 広 ¹ , 西村徹郎 ³ , F.J.Low ⁴ (宇宙研, ² 東大理, ³ 国立天文台, ⁴ アリゾナ大)	X66 P 気球搭載用硬 X 線/γ 線検出器 Welcome-1(mk2) の姿勢制御 斎藤芳隆, 江澤 元, 釜江常好, 窪 秀利, 鈴木清詞, 関本裕太郎, 高橋忠幸, 田中光明, 平山昌治, 松崎恵一 (東大・理), 矢島信之, 山上隆正, 秋山弘光 (宇宙研), 郡司修一 (山形大・理), 田村忠久 (東大・宇宙線研), 能町正治 (KEK), 宮崎 聡 (国立天文台), 村上浩之 (立大・理), 山崎典子 (都立大・理), Tim Edberg (LBL)
	U60 P ¹² CO (J=2-1) 輝線による Cygnus X 領域の広域観測 ¹ 新永浩子, ² 長谷川哲夫, ³ 林 正彦, ² 半田利弘, ¹ 佐藤文男, ² 阪本成一, ² 岡 朋治, ² 瀬田益道, ¹ 木村 修, ² 佐藤功美子, ² 徂徠和夫, ² 森野潤一 (東京学芸大学, ² 東大理, ³ 国立天文台)	X67 P FP 型レーザー干渉計プロトタイプ (VI) 大橋正健, 藤本真克, 山崎利孝, 福嶋美津広 (国立天文台)
	U61 P 銀河中心アーチフィラメント近くの星団 赤外線源 #17 の撮像 長田哲也, 小林尚人 (京大理), C.Woodward (U. Wyoming), M.Shure (U. Hawaii)	X68 P 銀河系モニター用重力波検出器の開発 黒田和明, 神田展行, マーク・パートン, 荒船次郎 (東大宇宙線), 近藤尚人, 坪野公夫, 三尾典克 (東大理)
	U62 P 暗黒星雲の化学進化-CCS と HC ₃ N による HCL2 の広域観測 山本 智 (東大理), 三上人巳, 砂田和良, 大石雅寿 (国立天文台野辺山), 平原靖大 (名大理)	X69 P Muses-B 衛星フライトモデルの製作 平林 久, 広沢春任, 他 Muses-B 製作チーム (宇宙研, 国立天文台, NEC, 三菱電機, 三菱重工, 他)
	U63 P 暗黒星雲 TMC-1 における C ₂ S の探査 笠井康子 (東工大・理), 平原靖大 (名大・理), 川口建太郎 (国立天文台野辺山), 大島康裕 (東大・教養), 遠藤泰樹 (東大・教養), 小尾欣一 (東工大・理)	
	U64 P 暗黒星雲における NH ₂ D の検出——星間塵由来の可能性 斎藤修二 (分子研), 山本 智 (東大理), 大石雅寿, 三上人巳 (国立天文台野辺山)	
U65 P C ₂ S ラジカルの実験室分光と星間空間での探査 平原靖大 (名大理), 笠井康子 (東工大), 大島康裕, 遠藤泰樹 (東大教養), 川口建太郎 (国立天文台野辺山)		

10:30

ポスター発表

会場D (展示室, 展示ホール)

【星間現象】【銀河・銀河団】【観測機器・情報処理】

11:30

【星間現象】

- U15 南天プライトリム分子雲サーベイ
杉谷光司 (名古屋市立大学), 小倉勝男 (國學院大学)
- U16 白鳥座領域の¹³CO 広域観測
土橋一仁 (大阪府立大学総合科学部), J.P.Bernard, 米倉覚則, 福井康雄 (名大理)

口
頭
(15分)

【銀河・銀河団】

- V11 楕円銀河に新しい球状星団は存在するか?
児玉忠恭 (東大理), 有本信雄 (東大理セ)
- V12 High-z クェーサーの近赤外分光
村山 卓 (東北大・理・天文), 川良公明 (国立天文台), 谷口義明 (東北大・理・天文)
- V13 野辺山ミリ波干渉計によるセイファート銀河の分子ガスサーベイ
河野孝太郎 (東大理), 川辺良平 (国立天文台野辺山), 石附澄夫 (東北大理)

【観測機器・情報処理】

- X12 1.6mULE 鏡による洗浄蒸着実験
沖田喜一, 野口 猛, 渡辺悦二, 湯谷正美, 倉上富夫, 吉田道利, 和瀬田幸一, 福田武夫, 鳥居泰男 (国立天文台)
- X13 すばる用補償光学システムのシミュレーション
大坪政司 (総研大), 家 正則, 高遠徳尚, Alexander Reeg (国立天文台), 高見英樹 (通信総研), 早野 裕 (東大)

